

週報

こひつじ

第39巻 19号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

イエスの処方箋

そこに、三十八年もの間、病気にかかっている人がいた。イエスは彼が伏せているのを見、それがもう長い間のことなのを知って、彼に言われた。「よくなりたいか」(ヨハネ五の五、六)

その一 願望の喚起

三十八年もの間、病気にかかってらい人生をつぶさに見て、それをする人をイエスはいやさされた。そよく理解し、その上で深く同情されるようにして行なわれたか。れたのである。イエスの処方箋について考えてみよう。

まず、

「彼が伏せているのを見」

とある。さらに、「それがもう長い間のことなのを知って」

とある。

これがイエスの処方箋の第一である。

イエスはこの人のこれまでのつ

不思議な言葉だ。

次に「よくなりたいか」と問われた。

病人でよくなりたくない人がいるだろうか。

事実彼は、よくなりたくて、その池に來たのではなかったか。その池の水が動くときにまっさきに入った者はいやされるといふ伝説があったからだ。

彼は何度も試みた。しかし自分が入ろうとすると、だれかが先に入ってしまう。だから助けを求めた。しかし手を貸してくれる人はいなかった。そうやって三十八年が過ぎたのである。

やがて「よくなりたい」という気持ちさえ失われていったのだろう。

そこでイエスは言われた。

「よくなりたいか」

イエスは、もう一度、病人がほんらい持つべき願望を喚起されたのだ。それがイエスの第二の処方箋だ。

私は一二歳のとき長い入院生活をした。

四人部屋だが、他の三つのベッ

ドは、どんどん次の人と入れ替わってゆく。いつまでたっても同じベッドを占領しているのは私だけ

だった。いったいいつになったら退院できるのか。隣の人が退院してゆくとびに悲しくて泣いた。

しかし、やがてその生活に慣れてゆく。

あるとき医師が言った。

「一晩だけなら、家に帰ってもいいよ」

母は喜んだ。そして何ヶ月ぶりかでは自分の家で寝た。でも眠れなかった。

戦争が終わってまだ長くたっていない頃で、家は貧しく、病院に比べてとても清潔とは言えない。それにふとんは薄くて、硬い。

私は言った。

「病院のベッドでないと眠れない」
 母は怒って言った。

「あなたは病院のほうが好きなのかい」

長く病気をしていると、その生活に慣れてしまう。体は弱いままが楽なように感じられ、学校へ戻るのさえ、おっくうになっていたのだ。

のだ。

そこで退院の日、医師から、「しばらくは学校生活はむりだね」と言われたときは正直、ほっと

した。勉強はしなくてよかったし、でも教え方がよかったのか、勉強は家で好きなことをやっていた。強がおもしろくなってきた。私のうちに近所の薬局のおじさんと親しくなり、毎日、将棋をさすようになった。将棋は、私のほうが強い。何度やってもまかす。やりながら、将棋のへたなおじさんをかからう。

するとおじさんが言う。「どうして学校へゆかないのか。ゆきなさいよ。ぼくが勉強をみてもろろ」

そのことを母に話すと、母は言った。

「あの人は、今は家のあとを継いで薬屋をやっているけれど、昔の帝国大学を出た人だ。教えてくださるといふのなら、そうしてもらうがいい」

そこで気軽に通い始めた。当時は、塾などなかった時代だ。ところが、今度は将棋のようにはゆかない。

親しかったおじさんがきびしくなった。予習をしてこないところびどく叱る。単語のスペルをひとつでも間違えると、やり直してこいと、帰される。

「よくなりたいか」と。このように健全で当たり前の生活に戻りたいという願望を喚起する。これもまたイエスの重要な処方箋のひとつなのだ。(続)

今日の礼拝

- 第一礼拝は午前10時から、第二礼拝は午前11時から。
- 教会学校は午前10時からこひつじ館で。

○説教は米村牧師。

○証は屋宜和成さん。

先週の礼拝

- 司会は林田実季さん。
- 説教は林田はるかさん。

出エジプト記一四章に記された紅海を渡る場面から、待つこと、そして神の働きに制限を与えないことの大切さについて語ってくれました。

○自己紹介と証は岡本はるなさん。しっかりと準備された原稿を手に、それでも原稿を棒読みするのではなく、自分の言葉として話

先週の出席

- 第一礼拝が三九名、第二が四一
- 名、合計八〇名(男二八、女五二)。
- 子ども六名。合わせて八六名。

牧師身辺

先週、証をしてくださった岡本はるなさんは、ご主人の転勤で熊本に七年前に来られました。菊陽町に住むことになり、公共機関を使つて行ける教会を探していたある日、大津駅から大きな十字架が見え、こんな駅の近くに教会があるのだと思つて、やってきたのがこの教会だったそうです。

その話を聞いて、ぼくも駅から歩いてみました。しばらくすると確かに建物の間から大津教会の十字架が大きく現われてきました。駅前の道路から教会がはつきり見えるのですね。大発見でした。